

支 援 内 容			
家族支援	●保護者支援の方針 ①保護者様との連携 保護者と定期的に連絡を取り、支援状況やお子様の成長を共有し、協力関係を築く。 ②相談対応 保護者の悩みや疑問に対して、適切なアドバイスや支援方法を提供。 ③情報提供 お子様の発達や支援方法について、保護者が活用できる情報を提供し、支援力を高める。 ④サポート体制の構築 保護者様が困った時にいつでも相談できる体制を整え、柔軟にサポートを行う ●保護者支援活動と情報提供の実施例 定期的な面談、日々のお子様の状況の共有、連絡帳のやり取り、ペアレントトレーニングなどの保護者学習会、保護者交流会、ワークショップ きょうだい支援としての、子育てサロンの開催。 保護者通信、冊子などの発行	移行支援	●お子様一人ひとりに寄り添った移行支援 ・保護者様のご要望に応じて、こども園・幼稚園・学校・関係機関と連携し、お子様に最適な支援方法を共有する。 ・お子様が新しい環境に安心して適応できるよう支援し、不安を軽減する。 ・保護者様の不安を解消し、支援方法や進捗をしっかりと共有することで、スムーズな移行をサポートします。事業所で学んだ内容を家庭でも実践できるよう、学習会や送迎時に必要な情報を提供。 ・一人ひとりの発達をサポートし、支援が途切れないよう繋げる。 ●連携先について ・幼稚園、こども園、学校との連携 ・相談支援事業所との連携 ・その他、関係機関との連携 ●実施方法の例 保護者様のご要望に応じて、訪問・連絡会や会議・個別支援計画書や電話や文書のやり取りなどによる情報共有
地域支援・地域連携	●地域とのつながりを大切に活動 ・地域住民との信頼関係を築き、地域のニーズに応じた児童発達支援を提供。 ・事業所の活動を地域に知ってもらい、地域社会とのつながりを深める。 ●実施例 ・交流や情報交換・行事の参加 (地域ボランティアさん、地域の学校・こども園・幼稚園・保育園、障がい者交流センター・医療機関など) ・定期的に市内の連絡会に参加して、情報共有や研修の機会があるため、児童発達支援における地域交流を深めている。 ・子育てサロンの開催・避難訓練での関わり・事業所周辺の清掃・職員による公共機関などでの研修や講演会の実施。	職員の質の向上	●研修のねらい ・専門的な知識やスキルを向上させ、質の高い支援を提供できるよう努める。 ・外部の専門家による研修で得た内容は、事業所内で共有し、職員全員が学びを深めていく。 ・事業所内でも、各自の専門性を活かし、質の高い研修を実施。 ・日々のミーティングで療育課題や成果を共有し、意見交換を通じて職員の専門性を高め、チームとして協力しながら支援を進めている。この積み重ねも研修の一環として実践的な学びを深めている。 ●研修の内容 ・言語アプローチ、リトミックの実践、食中毒、ガイドライン読み合わせ、障がい特性、個別支援計画書、児童の人権関係、食物アレルギー
主な行事等	●行事のねらい ・お子様が季節ごとの行事を通じて様々な経験をして、感性や社会性を育むことを目指している。 ・行事を通して、コミュニケーション能力や協力、役割分担を学んでいる。 ・季節行事を通じて、療育専門職が個々の発達に合わせたプログラムを提供し、子どもたちがいつもと違う楽しさや特別な体験を感じながら成長できる支援を行う。 ・季節の変化を感じながら、行事を通じて文化を学ぶ機会を提供する。 ◆季節行事の例➡お正月行事、節分行事、ひな祭り行事、事業所の卒業式、子どもの日の行事、母の日や敬老の日のプレゼントづくり、歯の健康促進イベント、七夕行事、夏祭り、水遊び、ミニ運動会、おにぎりパーティ、秋祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会他 ◆通年のイベント行事例➡お店屋さんごっこなどの各種ごっこ遊び、協同製作、お買い物体験、宝探しゲーム、避難訓練（火災、風水害、地震、不審者侵入などを想定）、入学や入園に向けて必要な社会的スキルを育てるSST		

支 援 内 容			
家族支援	●保護者支援の方針 ①保護者様との連携 保護者と定期的に連絡を取り、支援状況やお子様の成長を共有し、協力関係を築く。 ②相談対応 保護者の悩みや疑問に対して、適切なアドバイスや支援方法を提供。 ③情報提供 お子様の発達や支援方法について、保護者が活用できる情報を提供し、支援力を高める。 ④サポート体制の構築 保護者様が困った時にいつでも相談できる体制を整え、柔軟にサポートを行う ●保護者支援活動と情報提供の実施例 定期的な面談、日々のお子様の状況の共有、連絡帳のやり取り、ペアレントトレーニングなどの保護者学習会、保護者交流会、ワークショップ きょうだい支援としての、子育てサロンの開催。 保護者通信、冊子などの発行	移行支援	●お子様一人ひとりに寄り添った移行支援 ・保護者様のご要望に応じて、こども園・幼稚園・学校・関係機関と連携し、お子様に最適な支援方法を共有する。 ・お子様が新しい環境に安心して適応できるよう支援し、不安を軽減する。 ・保護者様の不安を解消し、支援方法や進捗をしっかりと共有することで、スムーズな移行をサポートします。事業所で学んだ内容を家庭でも実践できるように、学習会や送迎時に必要な情報を提供。 ・一人ひとりの発達をサポートし、支援が途切れないよう繋げる。 ●連携先について ・幼稚園、こども園、学校との連携 ・相談支援事業所との連携 ・その他、関係機関との連携 ●実施方法の例 保護者様のご要望に応じて、訪問・連絡会や会議・個別支援計画書や電話や文書のやり取りなどによる情報共有
地域支援・地域連携	●地域とのつながりを大切に活動 ・地域住民との信頼関係を築き、地域のニーズに応じた児童発達支援を提供。 ・事業所の活動を地域に知ってもらい、地域社会とのつながりを深める。 ●実施例 ・交流や情報交換・行事の参加 (地域ボランティアさん、地域の学校・こども園・幼稚園・保育園、障がい者交流センター・医療機関など) ・定期的に市内の連絡会に参加して、情報共有や研修の機会があるため、児童発達支援における地域交流を深めている。 ・子育てサロンの開催・避難訓練での関わり・事業所周辺の清掃・職員による公共機関などでの研修や講演会の実施。	職員の質の向上	●研修のねらい ・専門的な知識やスキルを向上させ、質の高い支援を提供できるよう努める。 ・外部の専門家による研修で得た内容は事業所内で共有し、他の職員も学びを深めていく。 ・事業所内でも、各自の専門性を活かし、質の高い研修を実施。 ・日々のミーティングで療育課題や成果を共有し、意見交換を通じて職員の専門性を高め、チームとして協力しながら支援を進めている。この積み重ねも研修の一環として実践的な学びを深めている。 ●研修の内容 ・言語アプローチ、リトミックの実践、食中毒、ガイドライン読み合わせ、障がい特性、個別支援計画書、児童の人権関係、食物アレルギー
主な行事等	●行事のねらい ・お子様が季節ごとの行事を通じて様々な経験をして、感性や社会性を育むことを目指している。 ・行事を通して、コミュニケーション能力や協力、役割分担を学んでいる。 ・季節行事を通じて、療育専門職が個々の発達に合わせたプログラムを提供し、子どもたちがいつもと違う楽しさや特別な体験を感じながら成長できる支援を行う。 ・季節の変化を感じながら、行事を通じて文化を学ぶ機会を提供する。 ◆季節行事の例◆お正月行事、節分行事、ひな祭り行事、事業所の卒業式、子どもの日の行事、母の日や敬老の日のプレゼントづくり、歯の健康促進イベント、七夕行事、夏祭り、水遊び、ミニ運動会、おにぎりパーティ、秋祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会他 ◆通年のイベント行事例◆お店屋さんごっこなどの各種ごっこ遊び、協同製作、お買い物体験、宝探しゲーム、避難訓練（火災、風水害、地震、不審者侵入などを想定）、入学や入園に向けて必要な社会的スキルを育てるSST		